

仲町小 学校だより

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 8-18-4 Tel048-831-4781 Fax048-835-1355



メールアドレス e-mail : nakacho-e@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス <http://nakacho-e.saitama-city.ed.jp/>

鬼は外 福は内

校長 長谷場 明博

2月になりました。2日は、節分です。文字通り季節の分かれ目、まだまだ寒い日がありますが、暦の上では、3日から春となります。

さて、節分と言えば、「鬼は外！ 福は内！」と声をだしながら豆を撒いて、年齢の数だけ(もしくは1つ多く)豆を食べて厄除けを行うという風習がよく知られています。

豆は、魔目(鬼の目)を滅ぼすということに由来するそうです。昔は、季節の変わり目に鬼がやってきて、災いや疫病をもたらすと言い伝えられているので、豆を撒くことで邪気を祓い、家から鬼を追い出し、福を招き入れる風習が今につながっているそうです。また、最近では、恵方巻といって、恵方(今年は、西南西だそうです)に向かって太巻き寿司を無言(途中でしゃべると口から福が逃げるため)で頬張りながら食べると願いが叶う、という関西圏の食文化・風習が全国的に広まっています。これだけ聞くとなんだか苦しくて難しそうですが、願いが叶うのであれば、関西の風習でも、苦しくてもやってみようと思うのはとてもよく分かります。

さて、学校というところは、季節をととても大切にしている、季節の移り変わりをとても感じられるようになっていきました。また、日本の学校は、春をスタートの時期としていることも大きな特色です。1学期が春に始まる国は意外と少なく、海外では、9月に新学期が始まる場所が多いです。

校庭の木々は、季節ごとに様々な表情を見せてくれます。学習では「春になると」「夏になると」「秋になると」「冬になると」という単元があります。給食では、その季節に合わせた料理や郷土料理を楽しむことができます。

四季の移り変わりを感じることは、月日の流れや成長を感じることに繋がります。

先日のニュースでは、地球温暖化の影響で春と秋がなくなる可能性もある、なんてことを伝えていました。確かに、昨年秋はとても短かったですが、そんなことになったらさびしい限りです。「人生の小さな節目節目を大切にすることが大きな成長につながる」そんな話を今度のお話朝会では話そうと思っています。

いよいよ春です。仲町小にも鬼が去り、たくさんの福が来ることを願います。

今月は、今年度最後の授業参観と懇談会、6年生は「巣立ちの会」、また学校運営協議会など本年度のまとめとして本校においていただく機会も多くなります。季節を感じながらご来校いただければ幸いです。今月もよろしくお祈りします。